

カニたちを育む浦安三番瀬の海

干潟が残された東京湾の最奥、浦安三番瀬。川から流れ込む栄養豊富な水は、プランクトンをはじめ、ゴカイや貝など様々な命を育みます。そんな豊かな海では多くのカニにも出会えます。石をひっくり返すと隠れていたカニたちがうじゃうじゃ。石の隙間以外にも、カキ殻の隙間を利用するもの、砂の中に隠れるものなど、多様なカニたちが暮らしています。



↑ 岩の隙間に隠れるイソガニ



↑ 砂の中に潜るマメコブシガニ

命を繋ぐ一員

カニたちは三番瀬の海で命を繋ぐ重要な存在です。ゴカイや貝、魚などが食糧となり、カニたちの命を支えます。その反対に、大型の魚や鳥はカニを捕食します。そんな喰う喰われるの連鎖がこの海で営まれ、その一員として、多様なカニたちが命を繋ぐ役割を担っているのです。



↑ カニを捕らえたキアシシギ

浦安市 三番瀬環境観察館

〒279-0013
千葉県浦安市日の出7丁目9番1号
TEL・FAX 047-711-1601
☑ sanbanze@city.urayasu.lg.jp



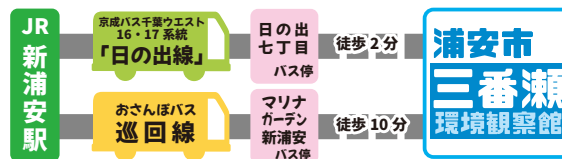
HP: <https://sanbanze.ces-net.jp/>

施設案内

開館時間 9:00-17:00

休館日
・月曜日（休日の場合は翌平日）
・休日の翌日（日曜日及び土曜日の場合は翌平日）
・12月29日から翌年の1月3日までの間

アクセス



うらやすさんばんぜ
浦安三番瀬でよく見られるカニ

＝カニそれぞれの甲羅の形の違いにも注目！



イソガニ

もっともよく見られる種
迷彩柄のような体色



オスのハサミには袋状のぶにぶにがある！



タカノケフサイソガニ

潮だまりで見つかりやすい
体色は褐色や灰色など暗め



オスのハサミには毛の房がある



マメコブシガニ

前方向によく歩く
体色は個体差がある

イッカククモガニ

北米産の外来種
体に藻などをまとい、カモフラージュしていることが多い



ヒライソガニ

甲羅が平っぺたい
体色は個体差がある



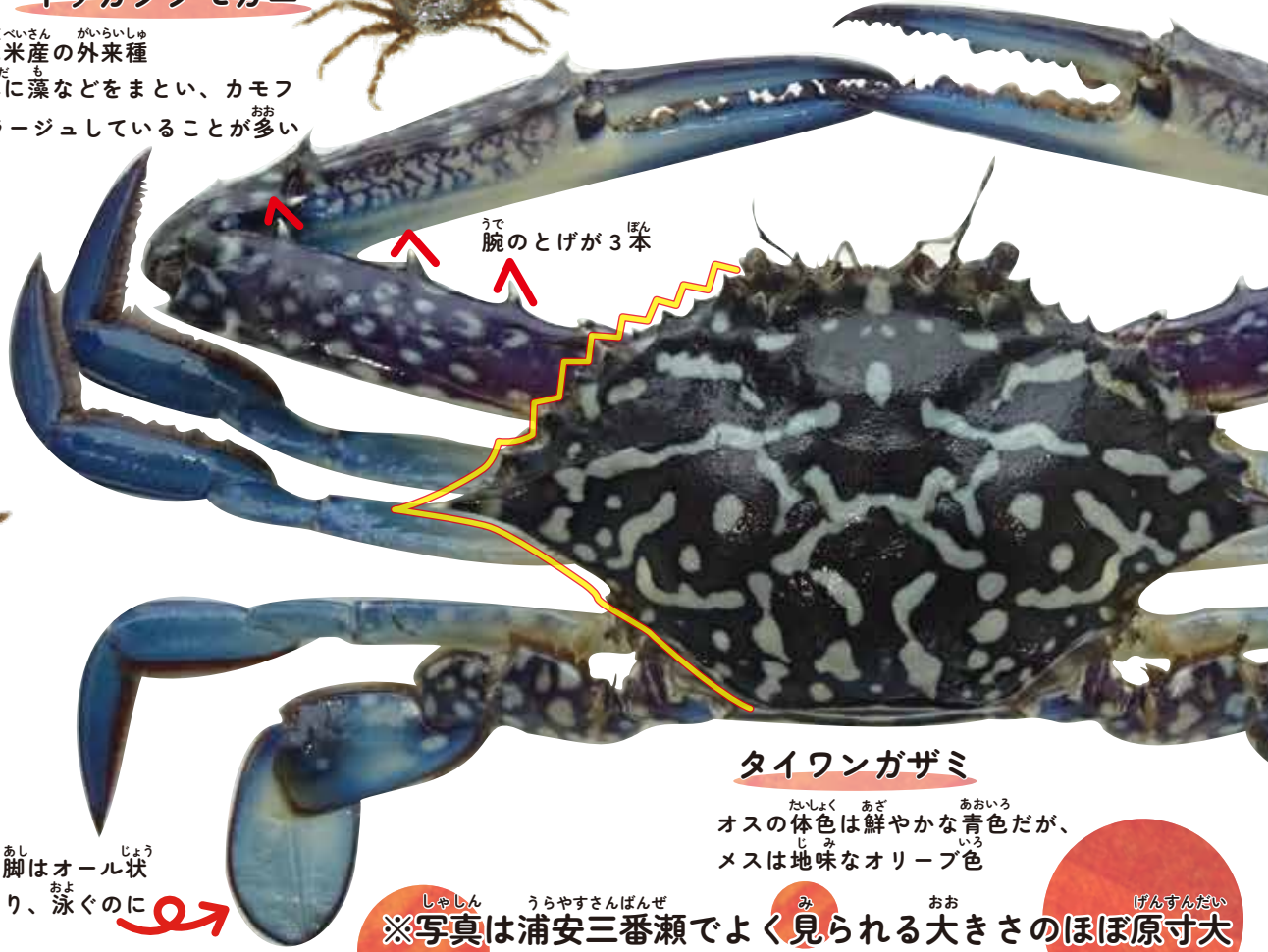
シワオウギガニ

危険を感じると動かなくなる
体色は個体差がある



イシガニ

気が強く、体色は青や紫色が入った個体もある



台湾ガザミ

オスの体色は鮮やかな青色だが、メスは地味なオリーブ色

一番後ろの脚はオール状になっており、泳ぐのに適している

腕のとげが3本

※写真は浦安三番瀬でよく見られる大きさのほぼ原寸大